

～1 学期始業式の言葉～

新2年生・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

春休みの間に、しっかりエネルギーチャージできましたか？いよいよ、今日から新学年がスタートします。

今日このあと行われる入学式を迎えるにあたり、先輩となるみなさんが力を合わせ、心を込めて準備をしてくれる姿は、とても頼もしかったです。係としてやらなければならないことだけでなく、やった方がよいことまで自分で見つけようとする姿はとても立派でした。そして何よりそこに思いがある姿だったことが素晴らしかったです。

1年前、2年前に自分たちの知らないところで、こんなふうに先輩たちが準備してくれていたその恩を、次の代にこのようにして返していくことはとても価値のあることです。よく頑張りました。

次は拍手と視線・姿勢、そして校歌で、後輩たちを温かく迎えたいという思いを伝えられるように、みんなの力を合わせられるといいですね。

特に校歌では、先輩として心を込めて、明るく元気な歌声をプレゼントできたらいいなと思います。

では、新たに始まる新学期を迎えるにあたり、大切にしてほしいことを、今から話します。

まずは、令和6年度、この1年、みんなで頑張ることは「なりたい自分づくり・夢づくり」です。

誇り高き板津人 つまり「この故郷に自信と誇りを持ち、板津の地をこよなく愛する人」となり、自分の未来を切り拓いていくことができるように、「自ら」「共に」「挑む」を合言葉に、自分なりの小さな挑戦を積み重ね、大人になる準備ができる、自分たちの学校を、自分たちの手で、声でつくっていきましょう。

そのためにも、まずはこの1学期「自分を大切に」「周りを大切に」しながら、「つながる」ことを意識し「温かな人間関係」という土台づくりに、みんなで挑戦していきましょう。

人が集まればそこには社会が形成されます。学校も小さな社会です。

「十人十色」お互いに補い合い支え合って成り立っている社会の一員として、共に生きるやさしさや・思いやりがあふれる学級・学年・学校であれるよう、まずはこの一学期みんなの思いを一つに、「つながる」ことを目標に、温かい土台づくりに励んでください。

先生たちも全力で応援することを約束します。

以上、1 学期始業式の言葉とします。